

## ● コミュニティ部会の2つの提案 ●

9回の部会の開催と、「多摩区市民館デー」「食育の秋 in よみうりランド」に参加し、具体的な取組について検討しました。

### テーマ「顔の見える地域に根ざした絆を構築する」

コミュニティ部会では、人との出会いや交わりからコミュニティが生まれることから、人が集まるイベント情報の発信、好きなことを教え、教えられるふれあいの機会づくりを進めるしかけ、あいさつ運動の展開では、あいさつができる地域コミュニケーションを再生するための提案を検討しています。

#### 提案1 地域に参加してもらおうしかけづくり

##### 取組案1 イベントカレンダーの作成

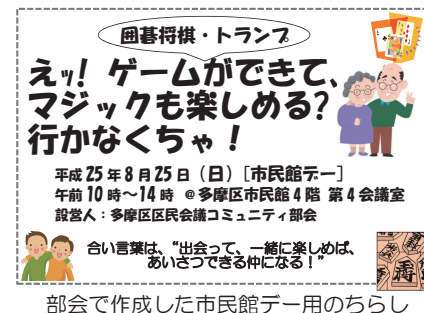
地域のさまざまなイベントに参加しやすいよう、イベントが一覧できるような「イベントカレンダー」を、以下の進め方で作成します。

- ①町内会・自治会のイベント、商店街イベント、区主催のイベントなど地域の主要なイベント・行事の情報を収集します。
- ②形式や作成時期、周知方法、実施主体を検討します。

##### 取組案2 多様な趣味にふれあえるしかけ

ひとびとがふらっと参加でき、多様な趣味とのふれあいを楽しめるしかけを検討します。

8月25日に開催された多摩区市民館デーに参加し、囲碁・将棋を柱として、多世代が参加し、これまでにふれあいの機会がなかった人同士のふれあいの場を、試験的に設けました。



部会で作成した市民館デー用のちらし

##### 取組案3 地域の特性を生かした絆が生まれるしかけ

11月2日に開催された「食育の秋 in よみうりランド」にフィールドワークとして参加しました。多摩区らしい地域の絆づくりとして、いま多くの人が関心をもっている農、食育、健康をテーマとした、ふれあいのしかけづくりを課題として審議します。

#### 提案2 地域コミュニケーションの再生

##### 取組案1 あいさつ運動の展開

知り合いになるきっかけづくりのために、気軽にあいさつを交わせる環境を再生するための方策として、あいさつ運動を検討します。



フォーラムでもあいさつ運動について熱く議論

## ● 自然災害部会の3つの提案 ●

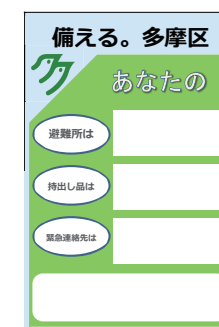
9回の部会を開催し、ワークショップによる地図づくりや、マグネットのデザインなど、具体的な取組について検討しました。

### テーマ「いざという時に助け合えるしくみづくり」

自然災害部会では、“自助”“共助”“公助”の中でも、特に“自助”と“共助”に着目し、区民ひとりひとりが防災意識を高めるために、「情報の周知」「避難所の確認」「生徒・学生との連携」の3つの課題解決に向けた提案を検討しています。

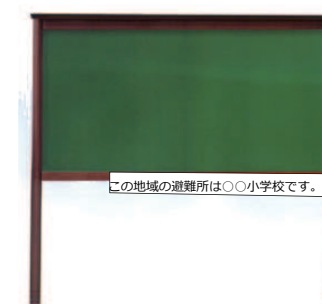
#### 提案1 多摩区版「備える。かわさき」の作成

##### 取組案1 マグネット方式



いざという時に慌てず、常に意識するために、冷蔵庫等に貼っておけるマグネット状のものを作成・配布し、各家庭で「避難所の場所」「災害時の持ち出し品」「緊急連絡先」を記入してもらいます。

##### 取組案2 掲示板方式



誰もが目にする場所にある、町内会・自治会掲示板や、川崎市広報掲示板に、「この地域の避難所は〇〇です」といった掲示をします。

##### 取組案3 回覧板方式

回覧板に、防災に関する基本的な情報を記載できるよう、取組を進めます。

#### 提案2 身近な防災マップの作成

いざという時に、安全に、安心して避難所まで行けるよう、身近なエリアの防災マップづくりに取り組みます。

多摩区全体の地図に避難所、一時避難場所、給水拠点、公共施設、危険箇所などを掲載し、避難区域単位などに区分けした地図を作成します。

この地図をもとに、各家庭で避難所や避難経路、自宅周辺の危険箇所などをチェックしてもらいます。



ワークショップで防災マップを検討

#### 提案3 中・高・大学生との連携

いざという時に、中・高・大学生が地域と連携するための仕組みづくりに取り組みます。

- ①中・高・大学生の防災訓練・図上訓練（避難所運営ゲーム等）への参加を促します。
- ②中・高・大学生向け防災パンフレットを作成し配布します。